今月の ソリューション事例

ニューテック

惑星科学研究センターが知見情報集積のために大規模ストレージシステムを導入

惑星科学研究センター（以下、CPS：Center for Planetary Science）は、国内外の惑星科学の学術拠点として惑星科学研究の知見情報を集積する場となるべく、2007年4月に神戸大学大学院理学研究科に設置された。その後2008年には、神戸大学-北海道大学連携による「惑星科学国際教育研究拠点の構築」が文部科学省によるグローバルCOEプログラムに採択され、本格的な活動に向けた基盤整備が開始された。

CPSの活動は、惑星そのものの研究のだけでなく、「教育研究」「基盤」「国際連携」「社会交流」「将来構想」といった5つのコーディネーショングループ（CG）に分かれて研究活動を行っている。教育研究CGは、教育プログラムの設計提供や研究集会の開催支援を行い、共同研究の企画調整などに従事。基盤CGは、共通利用可能なソフトウェアの開発など、教育研究活動に必要とされる基盤的な資源の開発整備あるいは開発整備活動の調整支援を行い、インターネットサーバの運営と知見情報の集積、アーカイブなどに従事している。国際連携CGは、海外の教育研究機関との人材交流や海外への情報発信を支援し、社会交流CGは、企業との研究連携の促進や博士修了者レベルの就職活動を支援している。そして将来構想CGは、若手研究者とともに惑星科学の展開を構想し、必要な提言を行っている。

このような活動を行っているCPSが、基盤CGが中心に行っている知見情報集積のために、大規模ストレージシステムをニューテックから導入した。神戸大学および連携研究を行う北海道大学の予算で導入したストレージと合算すると、RAID6構成時、約100TBに及ぶSupremacy RAIDを導入したことになる。

本システムの導入にあたり、CPSは、複数のサーバ／ストレージベンダーを比較、検討した。その結果、全国の研究者による草の根活動である地球流体電脳倶楽部でのニューテックの製品導入実績やサポート力が評価され、最終的にHP製DL380G5＋Supremacy RAIDの構成にて製品選択が決まり、2009年3月に納入に至った。

CPSサーバを管理している基盤CGのメンバーは、「2008年にCPSが文部科学省のグローバルCOEプログラムに採択されて以降、北海道大学との連携の中で、まず北海道大学の予算で、CPSサーバを購入しました。購入した一部を神戸大学でも利用し、これを知見情報の集積のために利用しています。またCPSでは、定期・非定期に行っているセミナーの内容を録画し、インターネットで配信しています。その配信のためにも大容量のストレージが必要です。神戸大学で購入したCPS解析サーバは、CPSの活動を支える若手の研究者や学生に対してアカウントを発行し、若手研究者たちが惑星科学に関する多用なデータの蓄積や解析ために利用しています。これらのデータは主に、衝突実験などの実験データや、各地の大型計算機センター、東大が開発したGRAPEを導入した計算機、地球シミュレータ、PC等を利用したシミュレーション実験データ、解析結果データです」と語っている。また、他のメンバーは、「ニューテックのSupremacyを選定した理由は、知見情報の集積のため、地球流体電脳倶楽部で同社製品を利用していたからです。特にサポートでは大変お世話になっており、引き続き、CPSでも利用したいと考えておりました。今回の導入では、予算確定、システム構成考案、導入まで短期間であったのですが、十分に対応頂き非常に満足しています」と語っている。

㈱ニューテック　TEL：03-5777-0852
E-mail：sales@newtech.co.jp